

米国北西部 サクランボの収穫と供給が好調

[FreshPlaza](#) 2025年7月3日

太平洋岸北西部からのサクランボの供給は、2024年よりも増加すると思われる。スーパーフレッシュグローブズ®社の販売部長であるキャット・ガイプスチュワート氏は、「弊社の供給は順調なようだ」と言い、同社は北西部のサクランボ収穫量の約17%を占めていると付け加えた(以下、「」は同氏の話)。「今年の果実には太平洋岸北西部のサクランボの特徴として知られているジューシーさ、色付きのよさ、風味の豊かさがすべて揃っている。小売パートナーに8月いっぱい切れ目なく供給できるだけの十分な量がある。」

生産者兼出荷業者である同社では、出荷シーズンはマタワ、トリンティーズ等の早生の地区から始まる。その後、収穫は夏を通して継続し、オレゴン州のヤキマバレー地域やラグランデ地域の標高の高い果樹園では8月末まで続くこともある。同社の最も標高が高い果樹園は海拔3,500フィート(約1,070m)を超えており、この地域で最も収穫が遅い。さらに、モンタナ州フラットヘッド湖周辺の果樹園でも、消費者に人気の高い特産物である晩生のサクランボが生産されている。この地域では、日中は晴天で夜間は涼しい穏やかな夏となっており、収穫作業は安定したペースで進んでいる。

「産地が複数の地域に分散していることで、収穫の時期がうまくずれ、サクランボの出荷期間は確実に90日以上になる。この収穫期間の長さは、最初から最後まで弊社がサクランボの供給を維持し、品質を高く保てることを意味している。」同氏は、今年の最初の収穫日は6月2日で、予想どおりのタイミングであったと付け加えた。

良好な生育条件

この地域では全般的に春からの天候が穏やかで、いくつかの地域的な気象現象を除けば、好ましい条件が収穫まで続いたことがこの作柄につながった。「気温が上がると、細胞の成長を加速するため戦略的に間引きを行った。この技術は、果実のサイズと品質の両方で成果を上げた。」

一方、今シーズンは、同社のスーパーチェリー™ブランドに適した大粒のサクランボ、すなわち樹上で一番大きい部類のサクランボが特に豊富に供給されている。パウチ袋とクラムシェル容器で提供されるこのサクランボは、ダークスイート系品種とレーニア品種のジャンボサイズのプレミアム品を取り揃え、特別に大きいだけでなくジューシーで風味豊かな商品によって小売業者の日常的なサクランボ販売を促進するものである。

実際、全体的な果実サイズと品質の優位性により、韓国、台湾、オーストラリア、ベトナム、香港への輸出事業でも同社は優位に立っている。

安定した供給を確保するための品種構成に関しては、ブラックパール、コーラル及びスキーナのほか、同社では通常最も遅く8月中下旬に収穫される独自品種を導入している。

祝日に向けた動向への期待

サクランボに対する需要が強く、生産者や出荷業者はこの勢いが8月も続くことを期待しており、今月から8月まで大規模な販促活動と堅調な小売販売が可能な価格水準が維持されるものと見られる。

「カリフォルニア州の出荷シーズンが終わり、メモリアルデー(戦没将兵追悼記念日: 5月の最終月曜日)の販促が本格化していた5月下旬の小売データを見ると、サクランボの価格は1ポンド(約454g)当たり2.99~5.99ドルの範囲で、販促価格の大部分は同2.99ドルであった。北西部産のサクランボが市場に入荷した6月上旬には価格がやや堅調に推移し、同3.99~6.99ドルの範囲であった。6月中旬の販促価格は、プロモーションの内容により、概ね2.99~5.99ドルの範囲であった。一部の割引広告の見出しでは1.99ドルまたはそれ以下に値下げされたものもあったが、2.99ドル未満の価格設定は引き続き非常に少なかった。」

7月4日(米国の独立記念日)の供給ピークと重要な販促期間に向けて、同社は1ポンド当たり3.99ドルの通常価格と2.99ドルの販促価格を推奨している。「これらの価格は、生産コストをカバーし、小売マージンを確保しつつ、十分な販売量を安定的に生み出してきた。」

これには品種も考慮されている。業界では過去10年以上にわたり、収量の低いピング品種からの転換を進め、コーラル、ブラックパール等の多収性品種を植えている。「これらの(多収性)品種がようやく最盛期を迎え、米国の独立記念日やカナダの建国記念日(7月1日)といった重要な販売時期に、十分な量を供給できるようになった。祝日向けの販促価格と、高品質な果実の理想的な供給が好ましいタイミングで重なっているため、結果を見るのが大変楽しみである。これが記録的な売上につながり、出荷価格も健全に維持されることを期待している。」

この生産・出荷業者は今後、予想される7月4日の勢いを足がかりに、7月から8月にかけて十分な量の出荷を続ける予定である。「ダークスイート系とレーニア品種の両方で最盛期が到来している。つまり、小売業者がサクランボの販促を行い、人目を引くディスプレイを作って衝動買いを促すのに最適な時期である。」

執筆者: アストリッド・ファン・デン・ブローク

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)